

# Article 体験型エンタテインメントと人工知能⑦

## — 2017 年実施内容の解説 —

### Experiential Entertainment and Artificial Intelligence — How to Slove the Missions in 2017 —

竹内 ゆうすけ 合同会社ラ・シタデール  
Yusuke Takeuchi LA CITADELLE LLC.  
<http://lacitadelle.jp/>

**Keywords:** ARG, alternate reality game, NAZO.

#### 1. はじめに

昨年「体験型エンタテインメントと人工知能」と題して、謎解きイベントをはじめとする体験型エンタテインメントをジャンルごとに解説していく連載をしてきました。

また、連載で紹介したジャンル (ARG (代替現実ゲーム)・謎解き・ミステリ・宝探しなど) にちなんだ体験型エンタテインメントのミニ体験を提供してきました。

本稿では、「MAKI の記憶」と銘打った一連の施策を振り返り解説します。

#### 2. 前年の施策内容

前年は「MAKI」と名乗る架空の人工知能が、人工知能研究の歴史をたどっていく様子を描きました。そのポータルサイトとなっていたのが

<http://remembranceofmaki.jp/>です。

現在、このページにアクセスすると 2017 年 11 月号の学会誌表紙とともに「MAKI の行方を知りませんか」というメッセージが表示されます。

これまで「MAKI」からの呼びかけに答えて謎解きを行うパターンが定番でしたが、2017 年 11 月号の施策では「MAKI」ではなく、動物の形を取った 5 体の影が「MAKI」の消息を尋ねてく



図 1 ポータルサイト

るという構成になっていました。

この影達の問いかけに対して、サイト上で答えていくことで、2017 年の各号で MAKI がどのような道程をたどったかをおさらいできるようになっていました。質問にはそれぞれ「05031864401」, 「MAKI」, 「三 佐」,

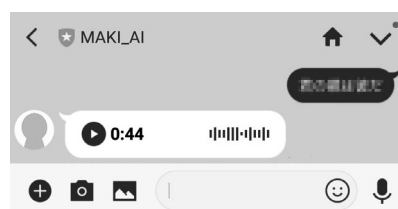


図 2 最後のメッセージ

「LINE」, 「船堀」と回答することで先に進むことができました。最後に受け取ることができるメールに書かれたキーワードを、MAKI の LINE へ送ることで一年をかけて描かれた MAKI の物語の真相が明かされるようになっていました。

現在も確認できるようになっています。ポータルサイトへアクセスして、ぜひ遊んでみてください。

2017 年 12 月 15 日 受理

#### — 著者紹介 —



竹内 ゆうすけ  
合同会社ラ・シタデール  
代表、NPO 法人国際ゲーム開発者協会日本代替現実ゲーム専門部会正世話人。